



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤千明 副会長：池田幸平 幹事：市川修次 公共イメージ向上委員長：杉本徳治



2019-2020 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーは世界をつなぐ
 Rotary Connects The World

2019-2020 RI会長
 マーク・ダニエル・マローニー
 <アラバマ州 (米国) >



第1516回例会 令和元年11月19日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 原一馬ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・米山奨学生 金根 様



■ 会長談話 唐澤千明会長



先週の11月16日(土)に東京アルカディア市ヶ谷で第22回ふるさと信州伊那の会が、市長を含め11人の来賓者と、首都圏からは60人近い方々が出席され盛大に開催されました。

首都圏での伊那市出身の地区代表の方々や、伊那市ふるさと大使の方々が世話人会を結成し開催の準備をしてきました。世話人会代表の宮原さんは、同じ首都圏に住んでいながら、日頃交流を深める機会は少ないわけで、この機会に多くの同郷者の方々と親交を深めて頂き、この会の発展に繋げていければうれしいと思います、と話されました。

この会に関わるメンバーとして、伊那市ふるさと大使・特命大使の皆さんがいらっしゃいます。

伊那市ふるさと大使は15名おり、伊那市にゆかりがあり、思いを寄せていただく著名な方々の中で、特に恒常的な親睦と交流から、市の紹介と発展のために貢献頂ける方々に委嘱しています。市政への助言や情報提供をお願いするとともに、伊那市の魅力を国内外に広く発信し、イメージアップを図っていただいています。主な人には、三井住友海上火災保険(株)名誉顧問の井口武雄さん、一般社団法人日本東ティモール協会会長の北原巖男さん、内閣参与の飯島勲さんがいます。

また、伊那市特命大使は16名おり、伊那市にゆかりのある著名な方々に、各分野における活動を通して、伊那市の魅力を積極的にPRしていただくために設置しています。活動分野に応じて大使名を決定し、本市の魅力を国内外に広く発信していただいています。主な人には、芸術文化大使の北村皆雄さん、羽場裕一さん、観光大使には三沢あけみさん、鈴木福くん、湯澤かよこさん、最近では話題の地元曲「高遠さくら道」で紅白歌合戦出場が決まった水森かおりさんがいます。

市長からは、伊那市では地域課題の解決に向けたIoTやAIによる新産業技術への取り組みや、低酸素社会実現に向けたモデル事業のほか、移住・定住の促進、高齢者福祉の充実や子育て支援などの少子高齢化社会への対応、「高遠石工」や「信州そば発祥の地」などの歴史や文化を新たな観光資源として発信するなど、地方創生に向けたまちづくりに取り組んでいます。と、話されました。

私からは台風19号での権兵衛トンネル通行止め、市民と議会との意見交換会、中学2年生による「キャリアフェス」での取り組み状況などの話をしました。

多くの方とお話できて有意義な1日でした。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤千明 米山奨学生 金根さん、本日は卓話をよろしくお願ひします。災害に強い樹木を教えてください。
- ◆市川修次 金根さん、本日は卓話を宜しくお願ひ致します。
- ◆宮澤友浩 先週の職場訪問例会ご参加ご苦労様でした。仙醸 伊藤様、ご案内頂きありがとうございます。
- ◆池上幸平 先週、長野市の穂保・長沼地区に災害復旧のボランティアに行つて来ました。現存のままではこれから生活できるのか疑問です。被災された方々は気持ちを強く持つて頑張つてもらいたいと感じました。
- ◆宮下健 東部中サッカー部新人戦で県大会準優勝を飾る事が出来ました!!ライバルは同じ南信の赤穂中です。赤穂中とは現在3連敗中と苦戦しています。頑張れ!伊那東部!!

■ 幹事報告 市川修次幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・11月14日(木) 上伊那グループパストガバナー補佐会の報告 田中洋パストガバナー補佐



11月14日(木)6時より開催理事の箕輪RC吉澤パストガバナー補佐による呼びかけで11名参加し、今年度の久保田ガバナー補佐から現況報告をいただき、後、協議事項の中でパストガバナー補佐会を年2回開催することが決定されました。その後懇親会が行われそれぞれ情報の交換がなされました。

・11月16日(土)伊那西IACと信州大学留学生交流会の為の事前研修会の報告 宮原英幸国際奉仕委員長



先週11月16日(土)、伊那西高校において、今週23日(土)開催予定の、信州大学留学生との交流会事前研修会が行われ、伊那中央RCより、青少年奉仕委員会井上修委員長・矢野昌史副委員長・下井達典委員各氏と国際奉仕委員長として宮原英幸、合計4名、伊那西高校IACメンバーより約20名が出席しました。午後1時半から5時まで、有意義な研修が行われました。

冒頭、下井委員より国際交流に臨む基本姿勢について、含蓄ある話がありました。まず交流・理解の基本は、①理解と敬意②対等(平等)と互惠③積極性④自己責任、であるとの話があり、特に臨む態度として、積極的に交流することが大事である旨話されました。

本年の学習国は、中国・ベトナム・スリランカ・エジプトで、メンバーはそれぞれ数人ずつの担当グループごとに、その国の地理的特徴・歴史的経緯や著名な観光地、言語・宗教、この国について知りたいことなどについて学習をし、リーダーが各国の学習経過について発表、IAの歌の練習も行われました。井上委員長や担当教諭からもいくつかの質問があり、且つ、本番までの調査確認事項やアドバイスの話もありました。

11月23日は信州大学より8名の留学生が参加される予定です。伊那西高校IACメンバーは今回の学習成果を生かし、おそらく意義深い貴重な体験ができると確信しています。

■ 出席報告 会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者24名 事前メイク5名
出席率70.73% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム 「米山記念奨学委員会」

・委員長挨拶 鈴木一比古米山記念奨学委員長



米山奨学生、金根さんの卓話です。大変真面目で優秀な学生です。
今日は自身の故郷の紹介、信大での研究の話などを聞かせて頂けるようです。

・卓話 米山奨学生 金根様



1. 自己紹介

中国・黒龍江省 朝鮮族
趣味：読書、漫画、歴史
2010年来日

2. 故郷の紹介

黒龍江省、中国最北の省、面積：460,000 km² (6位)、
人口 (2017年)、人口密度：37,870,000 人 (16位)、83 人/km² (26位)
人口の90%超が漢族でその他に満洲族、モンゴル族、朝鮮族などが住む。
中国の重要な食糧生産基地のひとつでもあり、良質な黒豆（黒大豆）、大豆、小豆が栽培されている。

年間気温差：最高気温 — 最低気温 = 50度

3. 有名スポット

アヤソフィア大教堂、ハルビン冰雪祭り
北極村、鏡泊湖
森林・大興安嶺、小興安嶺

4. 民族紹介

黒龍江省は多民族の辺境に位置する省です。

・昔から本省に暮らしているのは満洲族、朝鮮族、モンゴル族（蒙古）、回族、ダウール族（達斡爾）、シボ族（錫伯）、ホジェン族（赫哲）、オロチョン族（鄂倫春）、エヴェンキ族（鄂温克）和キルギス族（柯尔克孜）等。

・満、朝鮮、蒙古、回は人口が10万以上、
ダウール族（達斡爾族）人口4.3万、ほか五つの民族は人口が万人超えず。ホジェン族（赫哲）は3910人、黒龍江省特有な民族、オロチョン族（鄂倫春族）は3871人、オロチョン族（鄂倫春族）人口の52%を占める。

5. 自分の研究に関して

調査地は九州大学北海道演習林
ミズナラ天然生林の林冠の動態、天然林の動きからそのプロセス解明する。



■ 点 鐘 13:30

次回例会

11月26日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・クラブフォーラム「ロータリー財団」

・例会終了後：理事会